

Full-Drive2 v2 User Manual



各コントロールについて

VOLUME

音量を調節します。

STONE

アクティブトレブルブースト & カット回路。12時から1時の位置がニュートラルに設計されています。ノブを反時計回りに10時付近まで回すと、よりスムーズでクリアなサウンドになり、時計回りに回すと、よりブライトでカッティングの効いたトーンになります。「マスター」トーンコントロールで、Drive1とDrive2の両チャンネルに影響します。

DRIVE1

LEDが点灯しているときに操作可能。時計回りに回すと歪みが大きくなり、反時計回りに回すと歪みが小さくなります。Drive2はDrive1の延長線上にありDrive1で設定したよりも高い歪みと大きな音量を得ることができます。

DRIVE2

Drive2をオンにしているときのみ、オーバードライブの量を決定します。Drive2ノブはDrive1ノブに影響しません。

DRIVE2 Volume

Drive2がオンするときのみ機能し、Master Volumeの設定値よりも高い音量を出すことができますが、Master Volumeの設定値よりも低い音量を出すことはできません。

CC/VIN/FM switch

CC(Comp-Cut): すべてのクリッピング・ダイオードをバイパスし、クリーンなブーストを残します。

注意: 左のトグルスイッチがCCの位置にある時右のトグルスイッチのモードは機能しません。

VIN(ヴィンテージ・モード): ノーマル・ダイオード・クリッピングで、ミッドレンジが強調されます。

FM(Flat-Mids): 独自のフィードバック回路を使用し、信号をクリッピング・セクションに戻すことで中域の一部をキャンセルし、非常にオープンでナチュラルなサウンドを作り出します。

WIDE/HC/STD Switch

WIDE: MOSFETとショットキーダイオードを各方向に実装しています。コンプレッションを抑え、よりオープンに、より低音に。

HC (Half-Clipped): 波形の上部のみをクリップし、低音はソリッドでパーカッシブに、高音はサステインを強調します。

STD (Standard): 90年代のビンテージ Full-Driveと同じ、わずかに非対称なダイオード・クリッピング。よりソフトで丸みがあり、コンプレッションが強い。

ON/OFF Footswitch

オン/オフを切り替えるスイッチです。

Drive2 Footswitch

Drive2ノブとDrive2 VolumeノブをONし、高いディストーション・レベルや高いボリューム・レベルに切り替えることができます。

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された2.1mm x 5.5mmプラグの9~18VDC センターマイナス電源で動作します。

BATTERY

9ボルト電池で動作可能です。

電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

入出力について

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

Full-Drive2 v2 について

Fulltone Full-Drive2 は、常にチューブ・スクリーマー・キラーでした。

オリジナルの Full-Drive2 の ON/OFF 可能な 2 つの Boost はスマートでしたが、単に 2 つの異なるディストーション設定をその場で切り替える方式のため 各モードの Volume レベルを個別に設定することができず、2 つのモードのバランスを取るのが大変でした。

Full-Drive2 V2 は、Drive 2 チャンネル用に独立したボリューム・コントロールが搭載され、

コンプカット (CC) (よりウォーミーな 90 年代バージョンで、クリーンなブーストを残します。)

フラット・ミッド (FM) (90 年代後半から 2000 年代前半の、よりウォーミーでファットな FM。)

ハーフクリップ (HC) モード (非常にオープンでナチュラルなサウンド。)

の三つのクリッピング・モードを搭載。

JRC4558 オペアンプ、フルサイズのオーディオファイル・グレード・コンデンサー、9-18VDC 動作、9V 電池駆動可能、Fulltone 独自の 3PDT フットスイッチを使用したトゥルー・バイパスなどの特徴を備えています。